



平成 29 年 3 月 23 日

各 位

会 社 名 ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 檜 垣 周 作
(コード：2538 東証第二部)
問合せ先 執行役員 財務計画部長 柚 義継
(電話番号 06-7688-5900)

当社連結子会社による千代菊株式会社及び常楽酒造株式会社の 株式の取得（子会社化）に関するお知らせ

当社連結子会社である盛田株式会社（以下「盛田」といいます。）は、平成 29 年 3 月 23 日開催の取締役会において、以下のとおり、千代菊株式会社（以下「千代菊」といいます。）及び常楽酒造株式会社（以下「常楽酒造」といい、「千代菊」「常楽酒造」を併せて「対象会社」といいます。）の株式を取得し子会社化することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 株式取得の理由

当社グループは、当社と連結子会社 10 社及び持分法適用関連会社 3 社で構成されております。具体的には、当社は、グループ管理を行っており、盛田や株式会社老田酒造店等は、醤油・調味料、清酒、漬物及び飲料等を製造・販売し、株式会社アルカンは、主にヨーロッパ等からフランス料理等の食材やワイン等を輸入・販売し、東洋商事株式会社は、国内で食品、酒類及び資材等を取り扱う総合卸売業をしております。

当社グループは、中期経営計画（平成 28 年 9 月期～平成 30 年 9 月期）で「事業戦略」「人材戦略」「財務戦略」の 3 つの戦略を掲げ、総合食品アライアンス企業として外部提携・M&A も推進しつつ、消費者ニーズにあった商品を開拓・開発・アピールすることで、業界での存在感を確立させ事業基盤を強化するとともに収益性の向上を図っております。

千代菊は、元文三年、現在の岐阜県羽島市で創業、平成 30 年には創業 280 年を迎える老舗の清酒等製造・販売会社であります。常楽酒造は、大正元年に球磨川の最上流、熊本県球磨郡で本格焼酎の製造を開始し、平成 6 年にリキュール類製造免許を取得とともに、同県球磨郡錦町に新工場を建設。平成 19 年には新リキュール工場兼試飲即売所をオープンするなど、積極的な事業展開を行っている会社であります。

当社グループの酒類製造販売事業は、中核会社である盛田を中心に、傘下の子会社である株式会社老田酒造店（以下「老田酒造店」といいます。）、加賀の井酒造株式会社（以下「加賀の井酒

造」といいます。)、中川酒造株式会社(以下「中川酒造」といいます。))が参画しております。「日本の伝統的な食文化の継承」という当社グループの創業理念のもと、創業以来の長い歴史と伝統を持ち、何代にもわたって大切に伝えられてきた技を継承しながら食を育む「伝統蔵」が集まっています。これら「伝統蔵」は、日本各地のそれぞれの風土に根付いて、その恵みを享受した良質の酒類を生み出し、長年地元で愛され続けております。根ざす地域は違うものの、前述の創業理念に掲げた「食」に対する姿勢や思いは同じであり、これらを共有する蔵が集まることで、今後も日本の伝統的な食文化の最たるものである醸造業を守り伝えていきたいと考えており、対象会社が当社グループの一員に加わることで、対象会社の持つ個性や価値を最大限に活かしつつ、当社グループの持つノウハウやリソースを利用して最大限の効率化を図り、より一層の収益性の向上を目指します。

当社は、前述の中期経営計画でもふれましたが、今後、当社グループの経営基盤の構築や事業規模の拡大のために、事業方針として外部企業との業務提携やM&Aを推進していくことを掲げております。当社グループの酒類製造販売事業の中核会社である盛田や、盛田の子会社である老田酒造店、加賀の井酒造、中川酒造と、今後、双方の製造機能を活用した商品の共同開発や事業基盤を活用した販路の拡大及び営業力の強化並びに海外への展開が見込まれ、より成長力の高い企業グループになることが可能であると判断したことから、傘下に酒造会社がある盛田が対象会社の株式を平成29年4月1日付で取得し、子会社化することといたしました。

なお、当社が平成29年3月10日付で開示いたしました「第三者割当による第1回無担保転換社債型新株予約権付社債(劣後特約付)の発行に関するお知らせ」3. 調達する資金の額、用途及び支出予定時期(2) 調達する資金の具体的な用途に記載した資金を、当社が盛田へ貸付することで当該株式取得資金に充当をいたします。

2. 異動する子会社の概要

(1) 名 称	千代菊株式会社	
(2) 本 店 所 在 地	岐阜県羽島市竹鼻町 2733 番地	
(3) 代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 田中 文悟	
(4) 事 業 内 容	酒類及び飲食料品の製造並びに販売	
(5) 資 本 金	214 百万円	
(6) 設 立 年 月 日	昭和 27 年 6 月 30 日	
(7) 大 株 主 及 び 持 株 比 率	株式会社田中文悟商店 100%	
(8) 当 事 者 間 の 関 係 等	資 本 関 係	該当事項はございません。
	人 的 関 係	当社と盛田の取締役である田中文悟が当該会社の代表取締役を兼任しております。また、田中文悟が当該会社の100%親会社である株式会社田中文悟商店の過半数の株式を有しております。

	取引関係	盛田で製造した清酒を当該会社へ販売しております。また、盛田は当該会社より出向者を受け入れしております。
	関連当事者への該当状況	上記の人的関係があるため、当該会社は当社の関連当事者に該当します。

(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態 (単位：千円)

決算期	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期
純資産	123,723	124,643	304,385
総資産	363,249	341,862	374,855
1株当たり純資産(円)	1,288.79	1,298.37	710.73
売上高	342,683	317,184	329,105
営業利益	1,497	2,332	15,715
経常利益	332	1,114	15,865
当期純利益	1,766	919	13,605
1株当たり当期純利益(円)	18.41	9.58	31.77
1株当たり配当金(円)	-	-	-

(1) 名称	常楽酒造株式会社	
(2) 本店所在地	熊本県球磨郡錦町大字一武2577番地13	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 米来 健	
(4) 事業内容	酒類、清涼飲料水、乳製品類、調味料、食料品類の製造卸売並びに販売	
(5) 資本金	100百万円	
(6) 設立年月日	昭和62年2月3日	
(7) 大株主及び持株比率	株式会社田中文悟商店 100%	
(8) 当事者間の関係等	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	当社と盛田の取締役である田中文悟及び西澤淳が当該会社の取締役を兼任しております。また、田中文悟が当該会社の100%親会社である株式会社田中文悟商店の過半数の株式を有しております。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	上記の人的関係があるため、当該会社は当社の関連当事者に該当します。
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態 (単位：千円)		

決 算 期	平成 26 年 3 月期	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期
純 資 産	317,919	319,151	405,882
総 資 産	457,458	471,016	487,848
1 株当たり純資産 (円)	26,059.00	26,159.99	33,269.02
売 上 高	292,517	289,720	266,934
営 業 利 益	△14,917	2,323	2,866
経 常 利 益	△14,901	1,498	1,435
当 期 純 利 益	△14,924	1,232	86,730
1 株当たり当期純利益 (円)	△1,223.34	101.00	7,109.02
1 株当たり配当金 (円)	-	-	-

3. 株式取得の相手先の概要

(1) 名 称	株式会社田中文悟商店	
(2) 本 店 所 在 地	神奈川県横浜市金沢区東朝比奈 1 丁目 61 番 1 -602	
(3) 代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役会長 田中 文悟	
(4) 事 業 内 容	日本酒、焼酎等の酒類販売等	
(5) 資 本 金	50 万円	
(6) 設 立 年 月 日	平成 22 年 3 月 12 日	
(7) 純 資 産	388,676 千円	
(8) 総 資 産	1,781,036 千円	
(9) 大 株 主 及 び 持 株 比 率	田中 文悟 66.7% 西澤 淳 33.3%	
(10) 当 事 者 間 の 関 係 等	資 本 関 係	当該会社は当社株式 14,634,150 株（発行済株式総数に対する割合 10.68%）を保有しております。
	人 的 関 係	当社と盛田の取締役である田中文悟が、当該会社の代表取締役を務めております。
	取 引 関 係	該当事項はありません。
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	上記の資本関係、人的関係があるため、当該会社は当社の関連当事者に該当します。

- (注) 1 資本関係の株式数は、平成 28 年 9 月 30 日時点の株主名簿に平成 29 年 3 月 1 日を効力発生日の株式交換による交付株数を加えて算出しております。
- 2 小数点以下第 3 位を切り捨てして算出しております。

4. 株式を取得する子会社の概要

(1) 名 称	盛田株式会社
---------	--------

(2) 本店所在地	愛知県名古屋市中区栄一丁目7番34号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 檜垣 周作
(4) 事業内容	食品類、酒類、飲料の製造及び販売
(5) 資本金	100百万円
(6) 設立年月日	平成16年9月1日
(7) 大株主及び持株比率	ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社 100%

5. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

①異動前の所有株式数	0株（議決権所有割合：0.00%）	
②取得株式数	千代菊株式会社の普通株式	428,274株
	常楽酒造株式会社の普通株式	12,200株
③取得価額	千代菊株式会社の普通株式	400百万円
	常楽酒造株式会社の普通株式	400百万円
	価格評価取得費用等（概算額）	1百万円
	合計（概算額）	801百万円
④異動後の所有株式数	千代菊株式会社の普通株式	428,274株
	常楽酒造株式会社の普通株式 （議決権所有割合：各100%）	12,200株

6. 本株式取得価額の算定根拠

本株式取得の取得価額の算定につきましては、その公正性・妥当性を確保するため、当社及び盛田、対象会社、対象会社株主から独立した第三者算定機関である中山会計事務所に株式価値の算定を依頼し、平成29年3月13日付にて対象会社の株主価値算定書を取得しました。

本算定書のDCF法による普通株式の価値の範囲は以下のとおりです。

	算定方法	株主価値
千代菊株式会社	DCF法	365,961千円～511,774千円
常楽酒造株式会社	DCF法	356,823千円～495,988千円

DCF法においては、対象会社が策定した5ヶ年（平成29年3月期～平成33年3月期）の事業計画を予測期間とし、予測期間後のキャッシュ・フローの価値はターミナル・バリュー（平成33年3月期の営業利益水準を基に継続可能キャッシュ・フローとした永久成長率法を採用）として算出しております。なお、対象会社の平成33年3月期の事業計画では、千代菊は地元エリアの販売強化、新商品開発等により売上高400百万円、営業利益24百万円を、常楽酒造は首都圏での販路拡大や輸出拡大等により売上高393百万円、営業利益24百万円を見込んでおります。

当社は、上記の算定結果を基に当事者間で協議を行い取得価額を決定いたしました。

7. 日程

①取締役会決議日	平成29年3月23日
----------	------------

②契約締結日	平成 29 年 3 月 23 日
③譲渡実行日	平成 29 年 4 月 1 日 (予定)
④払込日	平成 29 年 4 月 3 日 (予定)

8. 今後の見通し

当社の連結業績に与える影響は、現在精査中でありますので、影響に関する精査が完了次第、必要に応じて速やかにお知らせいたします。

(参考)

当期連結業績予想 (平成 28 年 11 月 11 日公表分) 及び前期連結実績 (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
当期連結業績予想 (平成 29 年 9 月期)	23,900	600	250	100
前期連結実績 (平成 28 年 9 月期)	23,849	652	239	111

以上